



2023年12月22日

各 位

会 社 名 日本エアーテック株式会社  
代表者名 代表取締役社長 平沢 真也  
(コード：6291 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役管理本部長 渡辺 直樹  
(TEL:03-3872-9192)

### 中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2028年12月期を最終年度とする「中期経営計画」を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 中期経営計画策定の背景

当社は2023年8月14日付けの「プライム市場の上場維持基準への適合状況並びにスタンダード市場への選択申請及び適合状況のお知らせ」にて公表しておりますとおり、2023年10月20日にプライム市場からスタンダード市場へ移行いたしました。上記お知らせに記載いたしましたように、2021年12月16日に提出した「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」の内容を踏襲しつつ、新たな経営方針、戦略を加味した「新中期経営計画（2024年度～2028年度）」を策定いたしました。今後も高いガバナンス水準の維持や積極的な情報開示に努めるとともに、持続的な成長と企業価値の向上に取り組んでまいります。

#### 2. 中期経営計画の基本方針

- 方針1. 標準・準標準品の売上比率向上  
2028年目標80%
- 方針2. 差別化(ハード、ソフト、創造性)による脱価格競争  
ブランド価値の向上
- 方針3. グローバル化  
東南アジアの各グループ会社との連携強化
- 方針4. 新市場への進出  
空気清浄を必要とする市場は電子・バイオ共に年々拡大中(B to Bを原則)
- 方針5. 総還元性向を65%以上とする(本計画期間)
- 方針6. サステナビリティ経営への取り組み  
パーパスのもと人材を育成し、安全・安心な職場環境にて、日本そして世界に貢献し続ける

#### 3. 今後の取り組み

本中期経営計画の達成に向けた取り組み内容につきましては、添付の「中期経営計画概要(2024年～2028年)」に記載のとおりです。

以 上

AIRTECH

# 中期経営計画概要 (2024年～2028年)

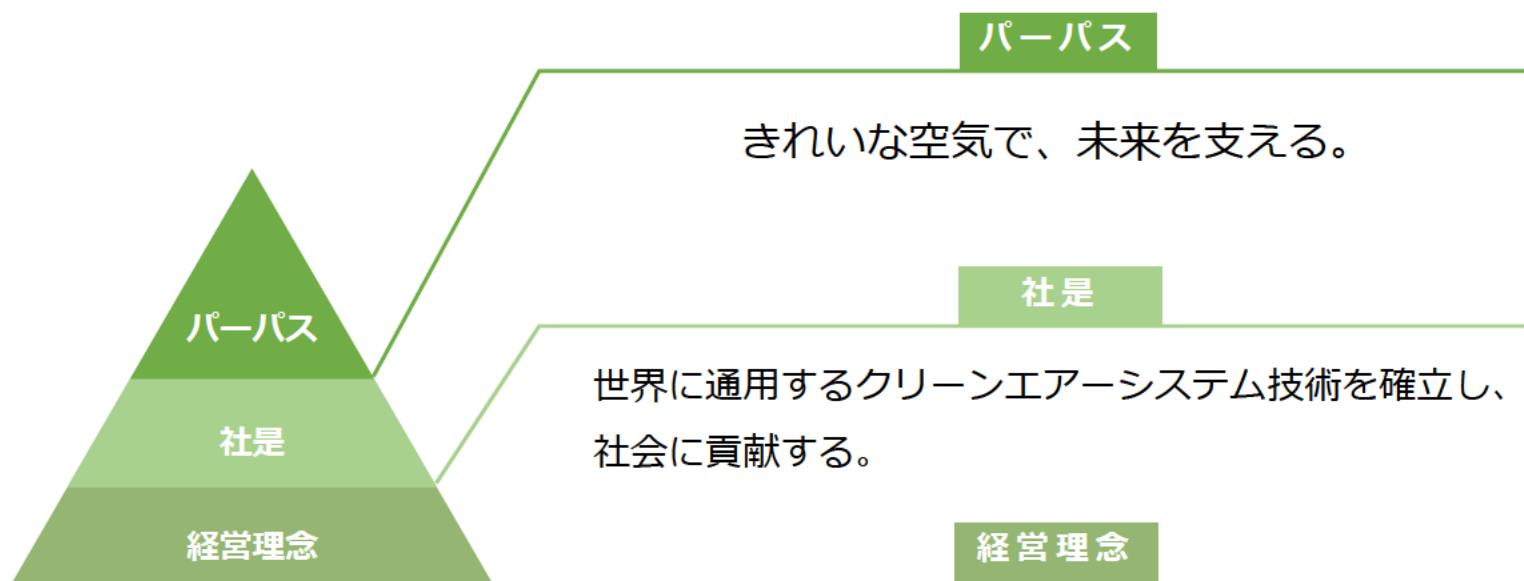
2023年12月22日  
代表取締役社長 平沢 真也  
**日本エアーテック株式会社**  
東証スタンダード 証券コード6291

## 目 次

1. パーパス、社是、経営理念
2. 基本方針、業績目標
3. 各方針説明
4. 事業環境及び施策

## 当社の存在価値

# 1. パーパス、社是、経営理念



- 株式会社本来の目的を達成する。
- 顧客の要求に合った製品の開発を行う。
- 技術の進歩は実験・研究を主とする経験から生まれる。
- 人材の育成は創造、継続、忍耐を重点とする。

創業精神を守りつつ時代の変化に追随する

## 2.1 基本方針

方針 1 : 標準・準標準品の売上比率向上      2028年目標 80%

方針 2 : 差別化(ハード、ソフト、創造性)による脱価格競争  
ブランド価値の向上

方針 3 : グローバル化    東南アジアの各グループ会社との連携強化

方針 4 : 新市場への進出    空気清浄を必要とする市場は電子・バイ  
オ共に年々拡大中 (B to Bを原則)

方針 5 : 総還元性向を65%以上とする (本計画期間)

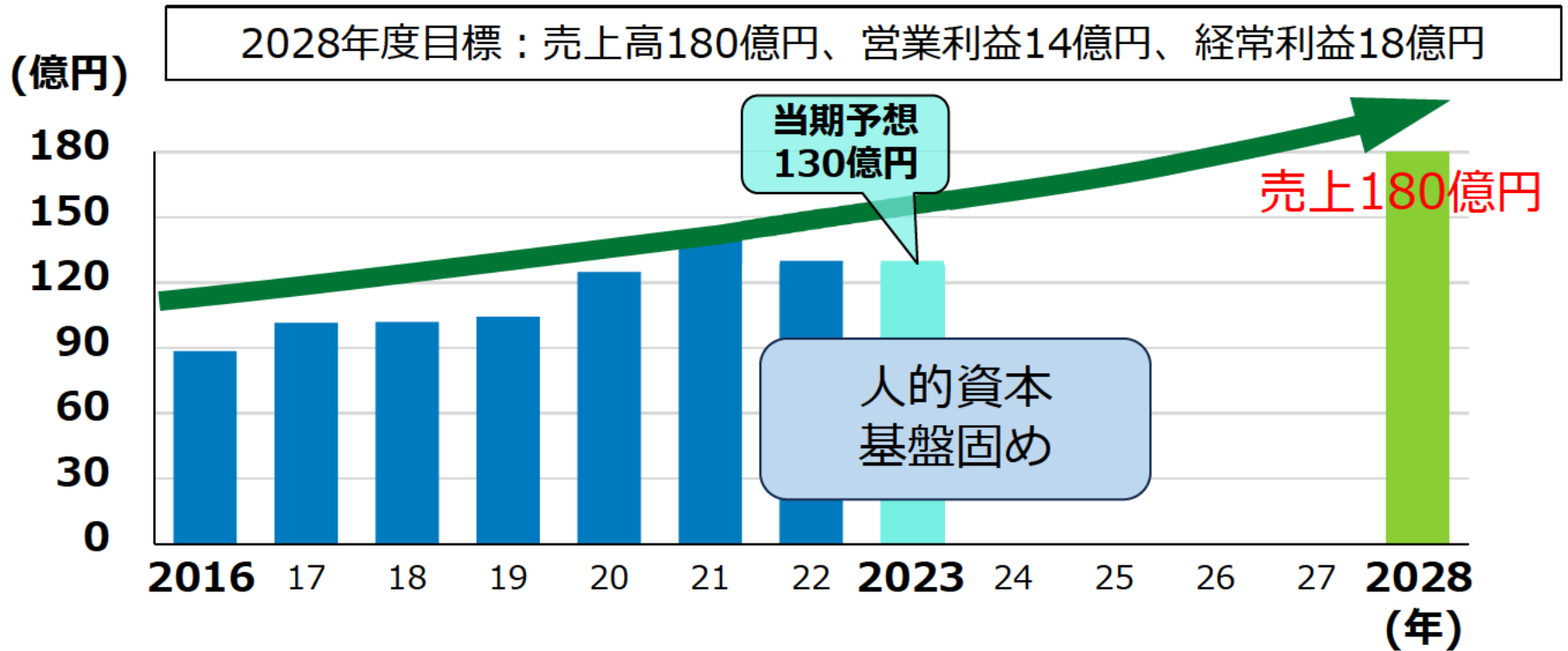
方針 6 : サステナビリティ経営への取組み  
パーパスのもと人材を育成し、安全・安心な職場環境にて  
日本そして世界に貢献し続ける

中期経営目標：当社単独成長に加え、M&Aの検討を進め成長を加速させる。

## 2.2. 業績目標と成長戦略

### 成長戦略

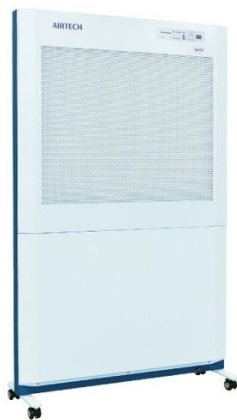
1. 継続成長が見込まれる半導体を主とした電子工業分野需要の取込み
2. CO<sub>2</sub>削減を目指すEV等への投資及び省エネルギー化推進需要の取込み
3. 顧客ニーズを捉えた潜在的な需要の開拓（フィルター交換、定期検査等）



### 3.1.1 標準・準標準品販売比率の向上

標準製品の販売比率を80%以上とする

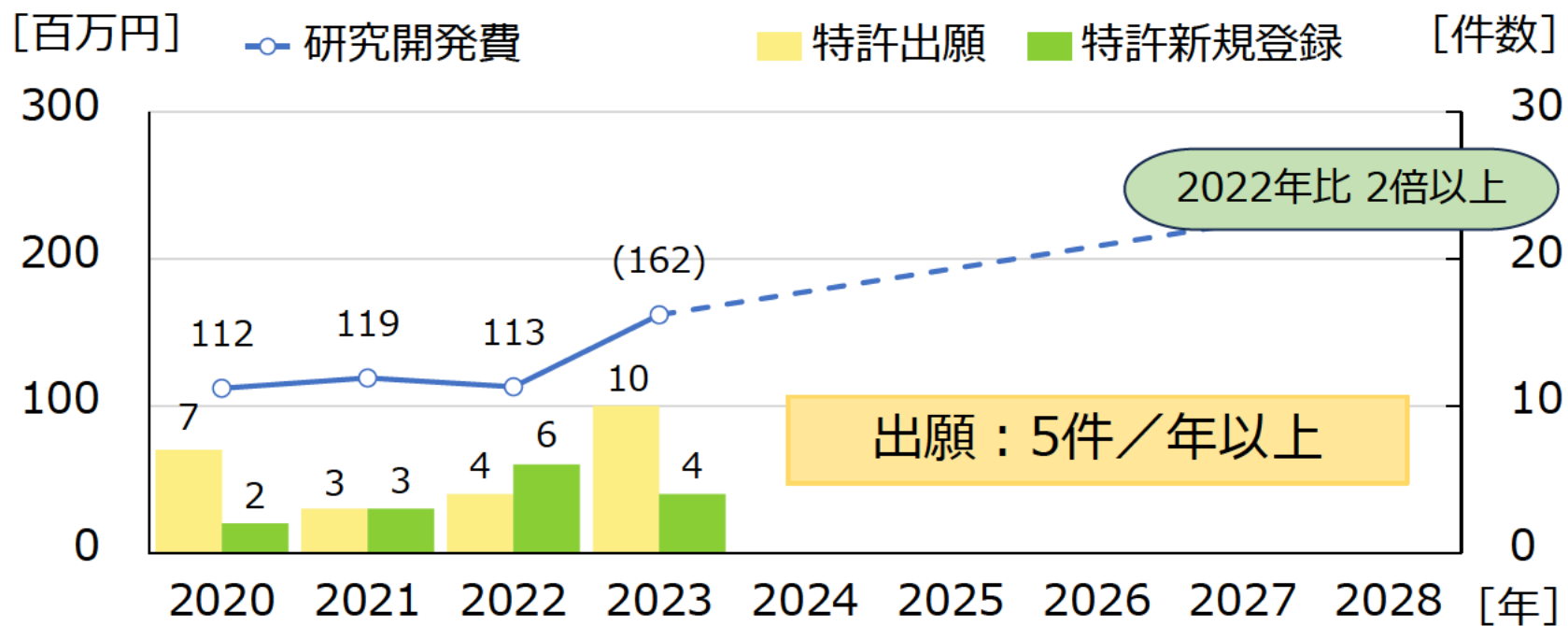
- ・ 魅力的な新製品開発      ～ 創造性、省エネルギー効果、CO<sub>2</sub>吸着
- ・ 販売強化及び価格改定      ～ 分野別販売ルート強化
- ・ 工場及び倉庫の新設      ～ 草加新倉庫・事務棟建設（2024年末竣工）
- ・ 原価低減及び品質向上      ～ 機械設備導入、各種金型への投資



### 3.1.2 創造的な製品開発

研究所強化により創造的な製品開発・研究及び特許出願を強化する

- 研究開発費を2022年度比の、2倍以上とする
- 特許出願件数目標を引上げ、毎年5件以上とする





### 3.1.3 シェア拡大

クリーンエアーシステムにおいて国内で圧倒的な業界一位となる。次に、フィルター事業拡大、国際的な企業となるべく礎を作り社会貢献度向上を図る。

◎ 全体市場（800－900億円）の22%以上

◎ 主力製品の国内市場シェア※

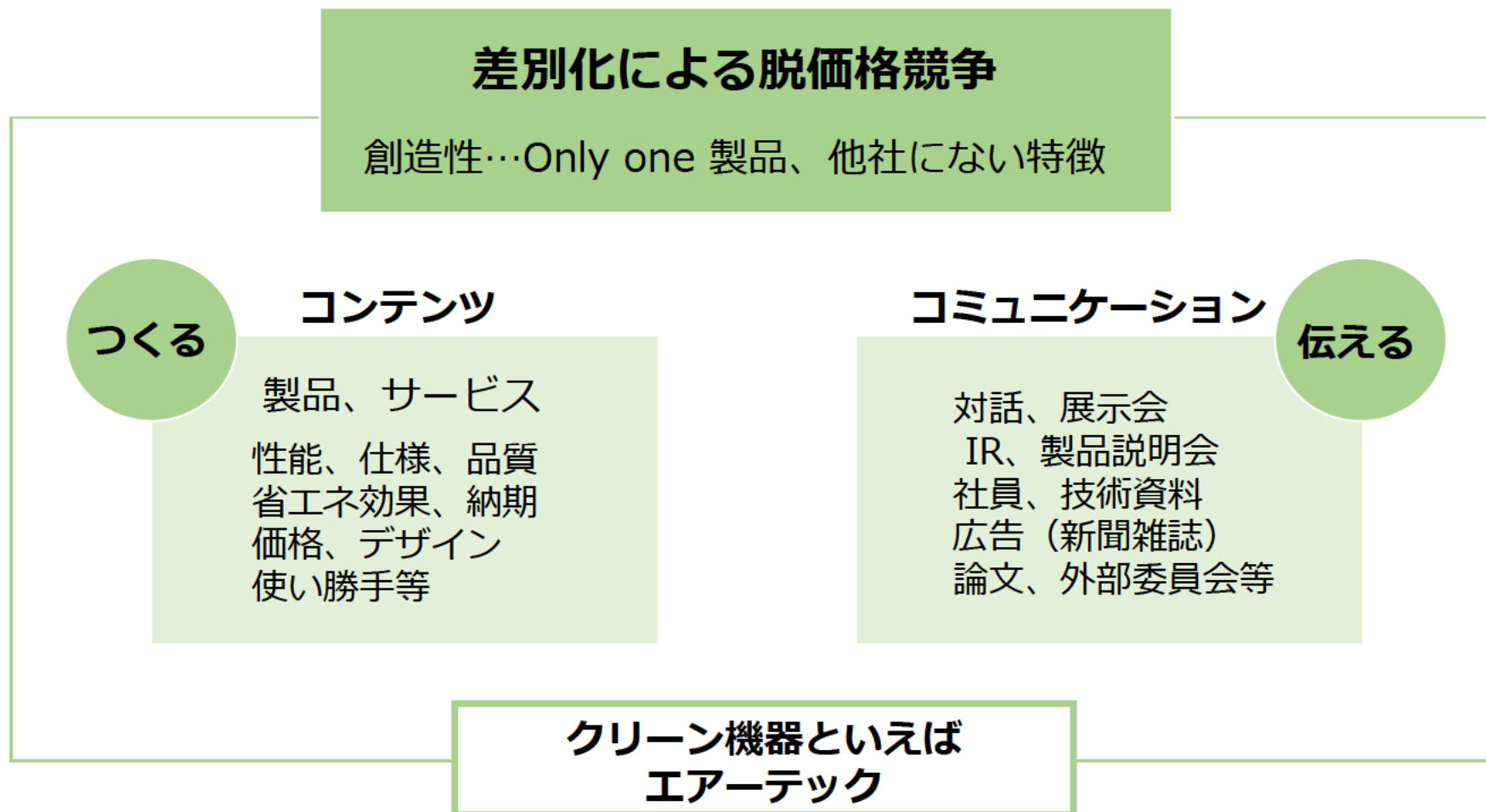
（'22年4月～'23年3月、台数ベース）

2028年度迄の目標シェア

• クリーンベンチ（ <u>36%</u> ）	➡ 50%以上
• クリーンブース（ <u>24%</u> ）	➡ 50%以上
• エアーシャワー（ <u>36%</u> ）	➡ 40%以上
• 安全キャビネット（ <u>31%</u> ）	➡ 50%以上
• <b>ファンフィルターユニット</b> （ <u>62%</u> ）	➡ 60%以上
• <b>HEPA/ULPAフィルター</b> （ <u>15%</u> ）	➡ 15%以上

※ 市場シェアは（公社）日本空気清浄協会調べによる

## 3.2 差別化による脱価格競争 → ブランド価値向上



### 3.3 グローバル化 及び 新市場への進出

#### グローバル化：当社各提携会社との連携強化

方針3

- ・ 展示会、学会発表等を積極的に行い知名度を広げる  
2024年度計画 AHEMA展示会(ドイツ)、ISCC学会発表(イタリア)
- ・ 米国業界に精通したメーカー・販売店との協力関係を構築し、提携会社との連携も含めた米国への進出

#### 新市場への進出：プロジェクトの強化

方針4

- ・ 高性能フィルター販売増加  
赤城スマートファクトリー生産品目追加（PTFEフィルター）
- ・ CO<sub>2</sub>吸着フィルター搭載空気清浄機の販売

## 3.4 総還元性向の新設定

### 株主還元及び配当に関する基本方針

#### 従来

配当性向30%以上を基本



#### 新方針

**総還元性向65%以上**  
を基本とする  
[本計画期間]

## 3.5.1 サステナビリティ経営への取り組み

### 人的資本向上方針

#### (A) 人材育成に関する方針（抜粋）

- ・「きれいな空気で、未来を支える。」というパーパスのもと、社員一人ひとりの創造性に重点をおいた人材育成を目指し、能力発揮と成長の機会を提供します。
- ・自ら学び、考え、行動する人材の育成と、社員の一人ひとりのありたい姿を実現するため、成長の機会を提供します。
- ・社員の経営参画意識を高め、社員と会社が成長する『成長と還元』への取り組みを推進します。

#### (B) 社内環境整備に関する方針（抜粋）






- ・多様な人材の多様な働き方と、新しい発想をもつ人材の挑戦を支援します。
- ・人材の健康管理や健康増進に取組み、安全かつ安心して働くことができる職場環境を整備し推進します。

## 3.5.2 人的資本向上への注力

2023年度施策例（人材能力・意欲向上、職場環境改善）～取組み推進中

- ① 人材育成、スキルアップ
  - ・ マネジメントスキル研修、ビジネススキル研修等の外部講習会への参加
  - ・ e-learning等を活用し、個々の経験・知識に応じた学習機会を設ける
- ② 従業員待遇向上
  - ・ 総合職昇給率は、社会一般の平均以上及び決算賞与の導入
- ③ 働き方改革
  - ・ 夏季休暇として年間休日を2日追加等
- ④ 従業員持株会向譲渡制限付株式インセンティブ付与（3年間発行総額約70百万円）
- ⑤ 福利厚生拡充
- ⑥ 職場環境改善（事務所拡張・移転、フリーワークエリア、工場暑熱及び安全対策）

### 3.5.3 サステナビリティ経営への取組み：会社成長と同期させる

SDGs目標	当社取組み内容 ～ 2023年概要
 <p>2 飢餓をゼロに</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>食品分野</b>における<b>衛生レベルを向上</b>させる効果のある製品の製造・販売 エアーシャワー、防虫エアーカーテン、クリーンブース等</li> </ul>
 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>医療分野</b>における<b>感染症対策品及び感染症研究施設</b>の納入</li> <li>● <b>再生医療分野</b>における<b>細胞培養施設（特殊クリーンルーム）</b>の納入</li> <li>● <b>医薬品分野</b>に必要な製品の製造・販売 (安全キャビネット、製造ライン用大型クリーンブース等)</li> </ul>
 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>気流と空調のエネルギー効率向上</b>を目指す研究開発 <b>新製品、改良製品の省エネルギー性能向上</b></li> <li>● 各事業所へ<b>ソーラーシステム及び遮熱塗装工事を実施</b></li> </ul>
 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>半導体分野</b>における<b>高精度な電子部品製造に必要な</b>製品の製造・販売複数の関連会社と共同開発、売上拡大中</li> <li>● <b>環境及び社会側面の課題解決</b>を目的とした<b>技術革新に貢献</b></li> </ul>
 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 赤城S.F.、サービスセンター、加須工場へ<b>太陽光発電、蓄電設備導入</b></li> <li>● <b>顧客の製造プロセス及びクリーンルームの省エネルギー化</b>に当社製品を通じて貢献（スマートクリーンルーム上市）</li> <li>● TCFD提言に賛同し、気候関連財務情報を開示(2023年2月)</li> </ul>

### 3.5.4 サステナビリティへの取組み

サステナビリティ委員会にて基本方針を策定し、目標設定と活動の実施・確認

#### 温室効果ガス削減への取組み ～ 4方針

- ① 当社のCO<sub>2</sub>排出量は2021年12月期において、180 [Kt-CO<sub>2</sub>]  
その約80%が、顧客現場での装置運転に伴うもの (Scope 3 下流側)  
解決策として、各種機器の省エネ化を実現し、その販売供給を拡大する
- ② 自社工場等への太陽光発電、蓄電設備の導入  
赤城S.F.、草加サービスセンター設置済、加須工場への設置は'23年12月完了  
2024年度は草加工場新倉庫・事務棟、越谷工場へ設置計画
- ③ 当社クリーンルーム用太陽光発電、蓄電設備のセット販売 (スマクリ上市済)
- ④ 空気中から直接CO<sub>2</sub>吸着を行う、空気清浄機を共同開発 (DACシステム)  
本機能を有する機器の追加開発及び拡販



## 4.1 事業環境（分野別）

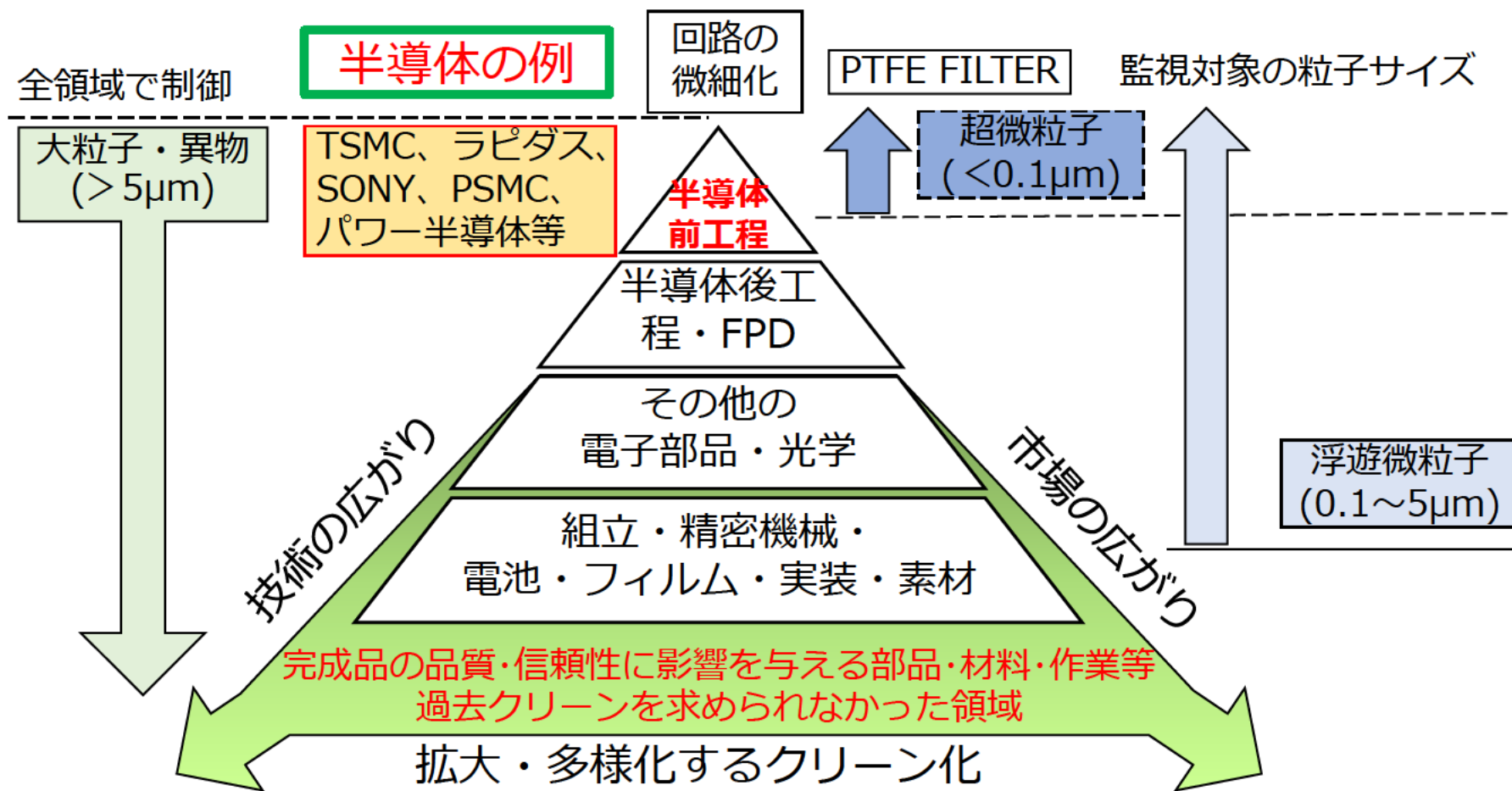
- 1) 電子分野：今後数年は国家戦略と連動し、AI、5G通信、データセンター、PC、自動車用等の半導体及びその関連する電子工業分野の設備投資は、最先端半導体工場を頂点とした産業界全体にて高い水準で堅調に推移すると推定する。
- 2) バイオ分野：少子高齢化の進行により再生医療、医療、医薬品産業は堅調に推移する。感染症対策も、研究開発、ワクチン製造、院内感染対策等様々な需要が継続すると推定する。
- 3) 化粧品・食品分野：インバウンドの影響により堅調な成長が見込める。また食の安全、品質向上の観点より需要は底堅いと推定する。培養食品関連の設備投資も注視する。
- 4) 自動車分野：EV（電気・燃料自動車）分野はCO<sub>2</sub>排出量削減に向け大きな分岐点にあり、関係各社の設備投資は堅調と推定する。
- 5) 航空・宇宙分野：政府方針による技術開発・研究分野への設備投資及びその居住空間における空気質の改善等への投資増加が期待できる。

## 4.2 事業環境（その他）

- 6) 気候変動対策等に起因する種々の影響（電力料金・原材料の高騰、省エネ製品の切替等）はプラス・マイナスの両側面あり、注意深く観察し、迅速に対応する必要がある。
- 7) 新市場（福祉施設等）へ継続的に製品投入を行い、次の成長に繋げる必要がある。
- 8) 事業承継の問題によりM&A機会が増加する。一方、サプライチェーンの維持・管理に注視する。
- 9) 円安は国内の電子・自動車分野の設備投資につながる一方、原材料費を始めとするコスト高につながる。また、人材確保競争の激化、人的資本への投資・働き方改革に伴う経費負担に対応し、販売価格を適正化することにより利益確保に努めることが重要である。

拡大・多様化するクリーン化需要

### 4.3 事業環境：高潔浄度から異物混入対策まで幅広いニーズ有り

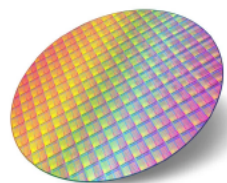


再生医療、医薬品・化粧品、食品、自動車も同様

## 販売強化施策

### 4.4 分野別販売強化事例：半導体分野 3ルート強化中

半導体工場に設置する機器、装置組込用機器及び製造装置メーカーや各種サプライヤー工場の設備投資により、当社への大口引合いが増加している



半導体工場  
クリーンルームの建設

**ゼネコン・サブコン**

工場用設備機器

- ・エアシャワー
- ・パスボックス
- ・ファンフィルターユニット等

AIRTECH

製造装置の納入

**製造装置メーカー**

装置組込用

- ・ファンフィルターユニット
- ・高精度空調機等

**当社製品 + 据付 + 保守**

**前工程**

後工程

その他の  
電子部品・光学

組立・精密機械・  
電池・フィルム・実装・素材

**代理店**

クリーンルーム・機器納入

- ・エアシャワー
- ・クリーンブース
- ・クリーンベンチ等

## 販売強化施策

### 4.5 分野別販売強化事例：製薬分野 4ルート強化中

製薬分野は、医薬品製造設備、製造環境設備、研究施設、保守・測定等を、4種のルートで行っており、各々の受注・販売を強化する



製薬工場  
研究所の建設

無菌製剤・一般製剤  
ワクチン・注射剤  
高生理活性活性剤  
血液／細胞加工製剤

… GMP/GLP対応、異物混入管理

製造装置の納入

ゼネコン・サブコン

設備機器

- ・エアシャワー
- ・パスボックス
- ・安全キャビネット
- ・秤量ブース
- ・クリーンブース等

AIRTECH

装置メーカー

装置組込用

- ・RABS
- ・クリーンブース
- ・アイソレーター等

直販

設備機器

- ・エアシャワー
- ・パスボックス
- ・安全キャビネット等

代理店

設備機器

- ・エアシャワー
- ・パスボックス
- ・安全キャビネット
- ・秤量ブース
- ・アイソレーター
- ・クリーンブース等

当社製品+測定+保守・除染)

## 製造能力強化施策

### 4.6 工場生産能力及び品質向上施策

- ・ 工場及び倉庫の新設により、生産能力を2028年までに現状の 1.2倍以上 とする
- ・ 機械設備導入及び各種金型への投資により、原価低減及び品質向上を図る



2024年 草加新倉庫・事務棟完成予定

#### 検討中の主な案

検討 1 : 赤城S.F. 第2工場建設  
組立工場及び倉庫の拡充

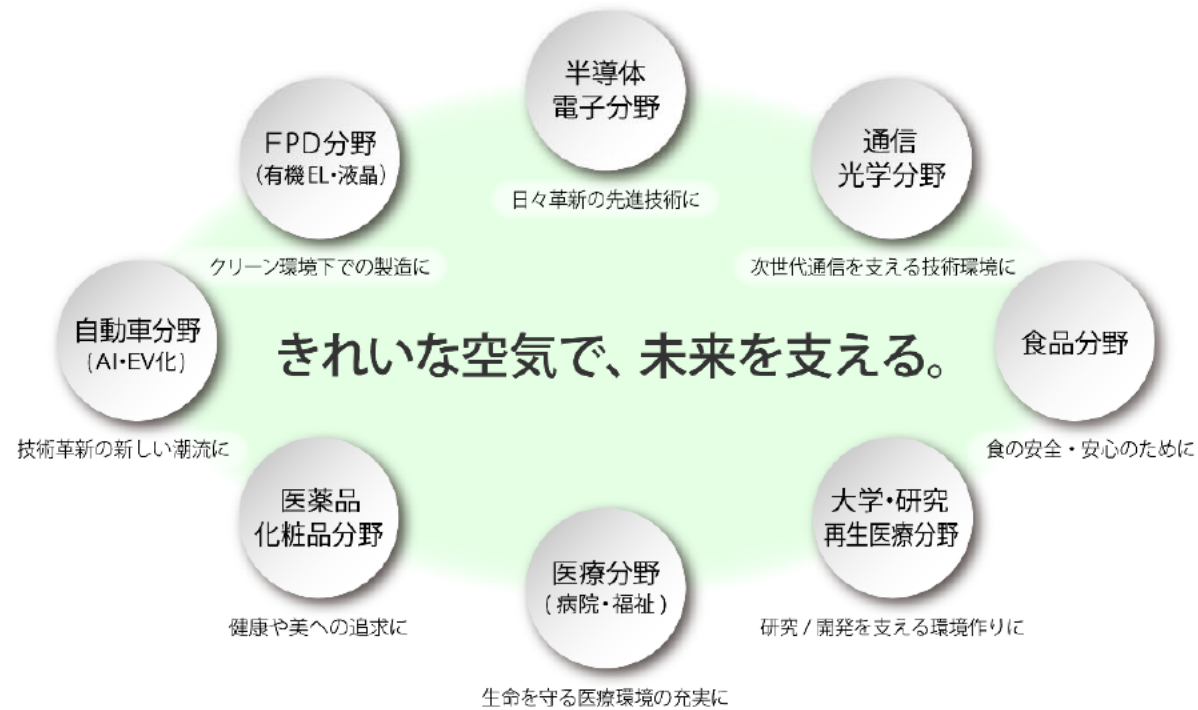
検討 2 : BCP対策兼顧客密着型工場  
関東以外地域への工場新設

検討 3 : 草加工場再構築

検討 4 : 組立協力会社の増強

# AIRTECH

電子工業から再生医療まであらゆるシーンで  
求められるクリーンな空気環境にお応えします。



## 将来見通し等について

- 将来見通し

本資料に記載されている当社の事業計画、将来予測等は、当社が現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、これらの予想は、各種感染症の国内外の感染状況、経済情勢・市況の変化、競争環境の変化、関係国の政策変化、係争中及び将来の訴訟の結果等多くの潜在的リスク、不確実な要素、過程の影響を受けますので、実際の業績は見通しから大きく異なる結果となる可能性があります。

そのため、これら将来予想に関する記述に全面的に依拠することは差し控えて頂きますようお願いいたします。従いまして、本資料の内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんので、ご了承ください。また、当社は新しい情報、将来の出来事等に基づきこれらの将来予測を更新する義務を負うものではありません。

- 数字の処理

記載された金額は、単位未満を切り捨て処理、比率は1円単位の金額で計算した結果を四捨五入している為、内訳の計が合計と一致しない場合があります。



きれいな空気で、未来を支える。

# AIRTECH

本資料に関するお問合せ  
日本エアーテック株式会社 総務部  
Email: [Irinfo@airtech.co.jp](mailto:Irinfo@airtech.co.jp)